



IDK株式会社の飯塚向平社長。「サービスは儲かる事業ではないですが、オーナーさんの熱い想いに応えるため頑張ってます」



サービスマニュアルなどがぎっしりと詰まったキャビネット。ここはナカミチのものだが、別のキャビネットにはサンスイのもの。



特殊機器事業部の永田正一事業部長。ナカミチとサンスイのサービスセンターも統括する。今回は永田事業部長に案内していただいた。



パーツとともに、修理待ちの個体や部品取りの個体が並ぶ棚。このあたりは実際に修理を手掛ける横内氏しか把握していないそうだ。



テスト用のカセットテープが詰まった箱。多くは横内氏の私物だそうだが、これで修理済みのデッキはテストされることになる。



なんと元箱付きのSoundSpace。ナカミチ時代から手掛けているので横内氏は修理が得意だそう。直せるのは世界でここだけだろう。



レアなNakamichi1000も入庫。タダでさえ複雑なDAT、しかも1000となると難易度は想像もできない。もちろん直せるかどうかは現物を見ないとわからないだろう。



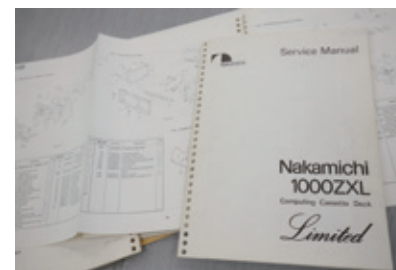
IDKで修理・整備したサンスイのアンプが販売されている一角。程度に比して値段は意外と安いかも。もちろん純正パーツで直されている。

多いです」と横内氏。専用部品が多く、修理不能なケースも多々あると、残念そうに教えてくださった。ナカミチということ、もちろんカセットデッキの修理が多いのだが、変わったところではリビングオーディオの『SoundSpace』シリーズは横内氏の得意とするところ。またCD量販店でおなじみのMB-V300などのミュージックバンクタイプのCD試聴機は、今でも使用している店舗が多く、修理も頻繁に来るそうだ。

現存するメーカーでも、部品保有期間を過ぎたモデルの修理は、すべて断られるという対応が多いなか、すでにメーカー自体が消滅して久しいのに修理が継続されているというのは、ユーザーにとってこれほど心強いことはないだろう。



今もユーザーを支え続ける『ナカミチサービスセンター』



ナカミチサービスセンター (株式会社IDK)
住所・〒300-2354茨城県つくばみらい市新戸110-1
電話・0297-20-7372
営業日・月曜日～金曜日(祝日を除く)
受付時間・9:30～12:00/13:00～17:00
ウェブサイト・<https://www.idkcorp.com/>

貴重なサービスマニュアルを始めとしたドキュメント類。すべてが揃っているのは日本でここだけかもしれない。写真は1000ZXL Limitedのもの。何バージョンもある。

ナカミチは現在もサービスセンターがあるのをご存知だろうか。ナカミチという会社がなくなる直前に、世にあるナカミチ製品の行く末を託された存在だ。ナカミチ製品の修理の今を探る。

写真・山田芳朗
文・澤村信

「元々はグラランデ傘下のケーブルプロニクスというメーカーのモニター修理を請け負っていたのですが、その縁でナカミチとサンスイのサービスセンターを引き継ぐことになったのです」と教えてくださったのは株式会社IDKの飯塚向平社長だ。飯塚社長の父は、先代社長の時代だ。90年代の終わりにナカミチとサンスイが香港のザ・グラランデ・ホールディングズの傘下に入り、数年でいずれも倒産するのだが、その直前の話だった。

その際に福島にあったナカミチの部品倉庫から純正部品を2トントラックで何台分もIDKに運び込まれたそうだ。もちろん部品だけではなく、サービスマニュアルやパーツマニュアルも全部引き継いだ。またナカミチで技術を担当していたエンジニアにも移籍してもらい、体制を整えた。そのエンジニアが横内公一氏。1980年にナカミチに入社した生粋のナカミチ・エンジニアだ。

ちなみにナカミチの修理を手掛けるのは横内氏ひとり。今でも月に3〜40台の修理依頼があるという。もっともIDKがナカミチサービスセンターを引き受けてからすでに17〜8年経ち、在庫がなくなってしまうパーツも多いそうだ。とくに「ターミネーター系はダメなことが